

(第3回) 四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会

● 第3回四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- ・実施日：平成29年5月23日(火)13:00～14:00
- ・場所：四万十市立中央公民館 1階大会議室
- ・出席者：四万十市副市長^(代)、高知県土木部河川課長
高知県幡多土木事務所長、高知地方気象台長
中村河川国道事務所長、中筋川総合開発工事事務所副所長^(代)
- ・事務局：四万十市、中村河川国道事務所

● 開催状況



● 決定事項

- ・四万十川で想定しうる大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目標とし、平成28年8月26日に策定した「四万十川の減災に係る取組方針」に基づき、関係機関(四万十市、高知県、高知地方気象台、四国地方整備局)で取り組む平成29年度取組の重点目標を報告するとともに、平成32年度までの取組方針に関するフォローアップ等、情報共有を行った。

● 構成員発言要旨

各機関の平成29年度の重点目標について確認した。

【四万十市長^(代)】

- 洪水情報のプッシュ型配信を活用し、6月11日(日)に避難訓練及び学習会を開催予定。
- 地区住民・小中学校への出前講座により洪水災害に対する防災意識を啓発する。今年度は15件の開催
- 防災士の育成推進
 - ・市内の小中学校に最低1名以上の防災士が所属するよう資格取得等の防災士の育成推進。
- 相ノ沢川総合内水対策に関する取組
 - ・新設小型ポンプの容量検討。
 - ・雨水貯留施設の維持管理、老朽化調査。
 - ・楠島排水機場の排水効率向上のため、操作ルールの変更検討。
 - ・防災無線の難聴地域解消のための放送施設の設計。

【高知県河川課長】

- 相ノ沢川総合内水対策に関する取組については、放水路計画について地元説明を行い了解が得られたところ。順次ハード対策の推進を図る。

【高知地方気象台長】

- 平成29年5月17日から「危険度を色分けした時系列表示」、「警報級の可能性」を新たな情報として提供を開始。今年度は、この新たな情報を用いた気象警報・注意報の普及を図る。

【四国地方整備局】

- 四万十川の堤防整備を推進。中筋川の横瀬川ダムの建設を推進。
- 堤防構造の補強対策の実施。
- 避難行動に必要なCCTVカメラの更新
- 水防活動訓練・支援活動の継続

● テレビ・新聞等の取材状況

- ・新聞：1社(高知新聞)